

# 手作り絵本の楽しさ

奈良教育大学 美術教育講座 梶田 幸恵



# 手作り絵本の楽しさ

奈良教育大学 梶田 幸恵

はじめに	12
一 誰でも簡単に楽しく作ることができる絵本	18
絵をさきに、ストーリーはあとで考える	19
絵を描くなら線を生かす (○△□)	20
色を塗るなら赤・黄・青を混ぜる	23
二 身近なところに絵本の種を見つける	24
わたしのすきなもの	24
わたしの家族	25
わたしを動物にたとえたら・・・	26
三 一枚の紙から絵本を作る	27
一枚の紙を折って切る方法	27
大学生の自己紹介絵本	28
「遠足のしおり」と「メモ・スケッチ帳」	29
四 折れ本型絵本を作る	29
二十歳の自叙伝絵巻折れ本型絵本	30

「手作り絵本を楽しむ会」で作った折れ本型絵本	31
中学生の『沖繩修学旅行絵巻』の折れ本型絵本	32
五 ソフトカバーの絵本を作る	35
六 本の各部の名称	40
洋装本（ハードカバー）製本の名称	40
七 ハードカバーの絵本を作る	43
八 ミニ絵本を作る	52
九 デジカメで写真絵本を作る	54
粘土のたいそう絵本	54
「粘土のたいそう」の方法	55
観察記録で科学絵本	56
十 飛び出す絵本を作る	57
十一 協働・共同制作絵本	67
「手づくり絵本の会 プラス」協働制作	67
おわりに	72



701年 光明子が生まれる



手作り絵本『光明皇后』(表紙)

## はじめに

わたしが手作り絵本にはじめて興味をもったのは、神戸で小学校の教師をしていた時です。今から四十年ほど前のことです。少ない給料の中から学級文庫のために絵本を買い、給食の準備時間を使って子どもたちに読みました。給食係りの子どももアルミ食器の音を立てないように、絵本に興味をもって耳を澄ませながら配膳をしていました。

そのうち、漫画風ですが鉛筆で絵を描き、短い言葉をそえ、ホツチキスでとめた簡単な絵本を作る子どもがでてきました。たちまち、人気がでてひろまり、子どもの手作り絵本を学級文庫の絵本と一緒に並べ、貸し借りをするようになりました。手作り絵本のヒントを得るために、子どもは市販の絵本を繰り返しよく読むようになりました。

附属小学校の図工専科教員になってからは、六年生の卒業記念として修学旅行や小学校生活の「思い出絵巻」を毛筆で描き、折れ本型の絵本を作りました。その絵本を長く保存できるように、文箱を作り、木彫の学習もしました。

子どもたちが絵本を作るようすを見て、わたしも絵本を作りたくなりました。しかし、物語を自分で考えようとしても、子どものようにすぐに思いつきません。



男の赤ちゃんが死ぬ



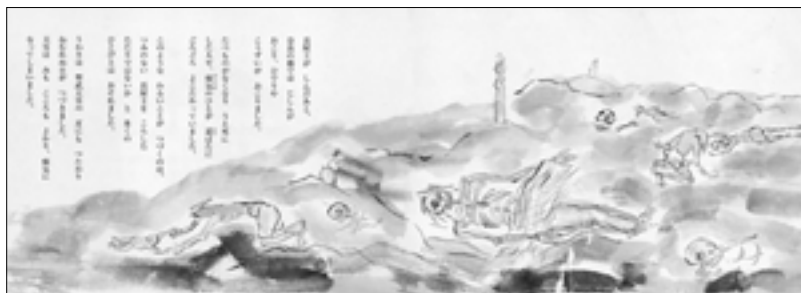
光明子が皇太子(後の聖武天皇)と結婚する

たまたま、岩波少年文庫『古事記物語』（福永武彦作 昭和三十二年発行）が手元にあったので、古事記にてくる女の人に焦点を当てて木版画絵本を作ることになりました。福永氏の文章をそのまま絵本に書くには文章が長すぎ、子どもにわかるように友人と相談して文章を短く書き換えました。

当時、神戸新聞社が「赤とんぼ絵本コンクール」を開催したので『古事記物語 さほ姫』を出品して受賞しました。また、大谷美術館が絵本原画コンクールを開催し、『インドの民話 クリシナ物語』を出品して受賞しました。

このあと、宮城教育大学に転任して、自主ゼミで学生たちと一緒に飛び出す絵本の教材研究をしました。紙工作の教材として飛び出す絵本は最適です。場面構成と飛び出す仕組みを考え、色画用紙の配色を考えるなど、描画と工作、デザインなどの創造的なアイデアを練ることができました。教育実習先では学生以上に子どもが興味をもち、いろいろな工夫をしました。学生たちは多くの人たちに飛び出す絵本を見てもらおうと展覧会を開き好評でした。その頃は手作り絵本に関する資料も本も見つからず、ハードカバーの製本のしかたがわかりませんでした。試行錯誤して作り、展示中に絵本が壊れ修理するのがたいへんでした。

十三年前に奈良教育大学へ転任してすぐ、学生が絵本のことを研究して卒業論文に取り組みたいと相談にきました。ちょうど奈良市立中央図書館で「手作



奈良の都て天災がおこる

り絵本講習会」を開くというので学生と一緒に参加しました。その時に出会ったのが講師の加藤啓子さんでした。五回の講習会の前半は、新聞のカラーページを使って貼り絵で絵本を作ることと、ハードカバーの製本技術を学びました。後半は自由制作で物語を自分で考え、絵も製本もひとりりてやり、「世界に一冊しかない絵本」を作りました。わたしは仙台から奈良へ引越してすぐのことで、奈良の歴史を調べ、日本伝統文化の発展に貢献した女性に焦点を当てました。そして『光明皇后』という絵本を作りました。自分で作ってみてはじめてプロの絵本作家の苦心や工夫を思い知ることができ、市販の絵本の見方がかわりました。

このことがきっかけで、加藤さんを「幼児の造形表現」の授業のゲストティーチャーとして迎え、絵本の読み方と作り方を学生に教えていただきました。

加藤さんを中心とした仲間の方々のお力添えて、平成十七年に奈良教育大学 学術情報研究センター図書館に「えほんのひろば」を創設することができました。このえほんのひろば（当時は附属図書館）で、市販の絵本と学生たちが作った手作り絵本を見ることができるようにと計画しました。

毎年、学生は、自分たちで企画運営をして『手作り絵本と二十歳の自叙伝絵巻展』を開いてきました。構内にある明治時代のレンガ建築の教育資料館を展示会場として、地域の人たちや子どもたちに、簡単な手作り絵本の作り方を伝え



光明皇后は苦しむ人たちを救う

てきて十数年がたちます。

このように、わたしと手作り絵本のかかわりを振り返ってみて、ひとりでも多くの人たち、子どもたちに手作り絵本の楽しさを伝えたいと思うようになりました。

平成二十年三月をもってわたしは定年を迎えました。ここで手作り絵本が途絶えるのではなく、誰でも簡易に絵本を作ってほしいと願い、このブックレットを作ることになりました。

ブックレットを作るに当たって、在校生、卒業生、大学院生、地域の子どもや大人の方々に、手作り絵本の作品の掲載にご協力いただきました。

また、山岸清太郎さん（「手づくり絵本の会 プラス」代表）に力を貸していただきました。この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

「えほんのひろば」は、市販の絵本を二千冊余り、学生や大学院生の手作り絵本を二百冊余り所蔵して、本学関係者のみならず、一般の人たちにも開放しています。ほとんどが硬い表紙（ハードカバー）のしっかりした製本です。この製本は西洋から伝わったもので洋綴じ（洋装本）といえます。また、手にとって見ることはできませんが、図書館内の金庫の中では、室町末期から江戸時代に作られた古い和綴じの製本（和装本）の『奈良絵本』を大事に保存しています。





奈良絵本『烏帽子折』



『熊野の本地』

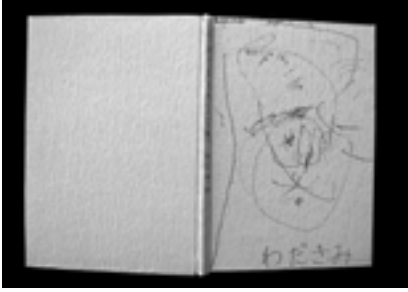
日本では綴じるかたちの絵本よりも早く、巻物に絵や文章を描く「絵巻物」が発展しました。絵巻物は十世紀平安時代や鎌倉時代に盛んに作られ、絵巻の内容はお経の絵解き、偉いお坊さんの伝記、お寺や寺院の縁起、源氏物語の挿絵などでした。

代表的な絵巻は『信貴山縁起絵巻』・『鳥獣戯画』・『源氏物語絵巻』・『伴大納言絵巻』など数々の国宝の絵巻があります。この絵巻の伝統が十五世紀以降、御伽草子に引き継がれて、『奈良絵本』をはじめとした絵草子がたくさん作られるようになりました。

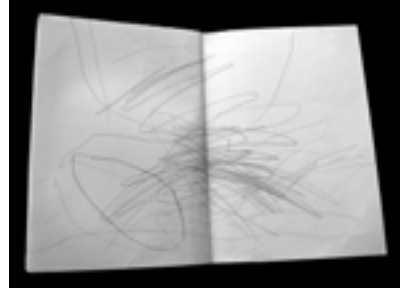
奈良絵は東大寺や興福寺などの絵仏師が描きはじめ、後に京都の町絵師も描くようになりました。和紙に岩絵具や顔彩などで美しい絵を描き、金泥や銀泥を用いた華やかな絵本です。子どもに見せるためというよりも「嫁入り本」とか「棚飾り本」として作られ、高価なもので庶民の手の届かない絵本でした。

奈良教育大学が所蔵する『奈良絵本』の実物は特別許可を申請しなければ見ることができませんが、元学長・赤井達郎名誉教授の解説文と図録写真をインターネットで自由に見ることが出来ます。(アクセス先は、奈良教育大学教育資料館ホームページ「奈良絵本画像データ」)

絵本を読むことと作ることは、子どもだけでなく老若男女すべての人にとって車の両輪のように大事なもので、空想力や創造力をゆたかに育ててくれます。失敗をおそれずいろいろな絵本作りを試みてください。



母親が製本する



幼児の線遊び

## 一 誰でも簡単に楽しく作ることができる絵本

このブックレットは、「子どもと一緒に絵本を作りたいけど難しそう」とか「絵を描くのが下手だから自分には作れそうもない」と諦めている人に、または、「絵本作りに強い関心をもっているけど、何からはじめたらよいかわからない」という人に手作り絵本の楽しさを伝えたいと思って書きました。

二・三歳の幼児が何を描いたかわからないぐちゃぐちゃの絵を数枚集め、子どものものつぶやきを大人が聞いて書き入れ、糊づけすると絵本になります。子どもの貴重な成長記録を残すことができます。右の図は二歳六ヶ月になる女の子がわたしの目の前で描いて見せてくれた線遊びです。この子は線のかたまりを指差して「ぞうさん」、「アンパンマン」と教えてくれました。あとでこの女の子のお母さんがつぶやきを書き入れ製本したものが左の図です。

また、小学校や中学校で学習したことや観察記録、遠足の思い出、創作した物語を絵本にして長く保存することができます。

さらに、高齢の方は自分史を絵と文で綴って製本すると、世界に一冊しかない立派な「手作り自叙伝絵本」ができてあがりります。

手作り絵本を作る目的は人によって異なります。

・自分が楽しむため

・自分が大事にしているものを残すため

・身近な人（友だち・子ども・孫など）に見せたり贈ったりするため

など、同じ人でも作る度に目的が変わってくることもあります。

プロの絵本作家になるためではなく、初心者の方が少しでも多く関心をもって短時間でできる手作り絵本に取り組んでほしいと願っています。そこで、材料や道具は手元にあるものや、手軽に手に入れることができるものを使います。また、けがをしたりまわりを汚したりしないように気をつける方法を書いています。

### 絵をさきき、ストーリーはあとで考える

絵本を作ろうと意気込んで、はじめに物語を考えるとなかなか前に進むことができません。慣れていない時は絵を先に、ストーリーはあとで考える方が作りやすいです。

まず、手を自由に動かし、くるくる回して線遊びをしてみましょう。気楽に偶然引いた線の中からイメージをふくらませ連想すると、ラフスケッチの中から思いがけないおもしろい絵本になることもあります。

わたしの授業で、いままで絵本を作ったことがない学生たちがはじめにするこ

とは百円シヨップで売っているような薄手の八つ切り画用紙を半分につけて、幼児になったつもりで画面に無作為にぐちゃぐちゃな線をなぐり描きします。線を描くのは色鉛筆でもカラーサインペンでもいいですが、クレパスは色移りするので使わないでください。もし、使うのであれば、画材屋でフィクサチーフスプレーを買ってきて画面に吹きつけると色移りを防げます。

つぎに学生たちは童心にかえり、自由に四枚ほど描きながったあとで、描いた順とはちがう順に並べ替え、ぐちゃぐちゃ線からイメージをふくらませて短い文を書き加えます。時には色紙や新聞紙のカラーページをちぎって画面に貼りつけます。これを内折にして糊づけし、表紙をつけると簡単な絵本になります（作り方については「五・ソフトカバーの絵本を作る」で詳しく説明します）。

まずはじめは、肩の力を抜いて幼児の気持ちで「ぐちゃぐちゃ線の絵本」を作ってみると、つぎからは「こんな絵本を作ってみた」というイメージを育むことができます。裏側が印刷していないカレンダーやポスター、広告紙などを再利用して白い画面に線を描くことから始めてください。

### 絵を描くなら線を生かす (○△□)

つぎに主人公を決めます。絵本の主人公は写真のように写実的に描く必要はありません。絵本に登場するものは生き生きと動いている感じであらわすことが



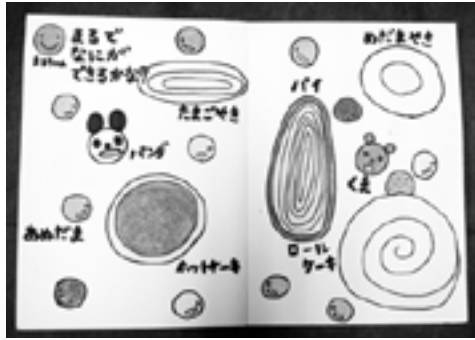
幼児が描いた○△□

だいいです。そのためには毛筆の線を生かすと効果的です。消すことができない毛筆の線で絵を描くなど無謀なことといわれますが、緊張して集中して描くと思いがけない生命力のあふれた絵になります。毛筆の面白さは「四・折れ本型絵本を作る」で紹介します。詳しいことは拙著『毛筆のよさを生かす美術教育』（明治図書出版）をご参照ください。毛筆の線で描くといままで知らなかった自分の表現力を発見することができます。

幼い子どもが描く絵は、かたちのバランスがとれていなくとも力強い線でぐいぐい思いきって描いているから、生きて動いている感じがします。大人も絵本の絵は、うまく描こうとするのではなく、線を生かして強調したいところは大胆にデフォルメを試してみるとおもしろいものになります。

ぐちゃぐちゃにながり描きをしていた幼児が意識して○△□を描くようになると、人間も動物も自分が興味をもつところの特徴をとらえて描くようになります。たとえば、「ぞうさん」を描く時、小さい○は頭、大きな○は胴体、胴体の下に□を四つ描くと足、耳は△、鼻は長くて細い□、というように、○△□を組み合わせているいろいろなものを思い浮かべて簡単に描くようになります。

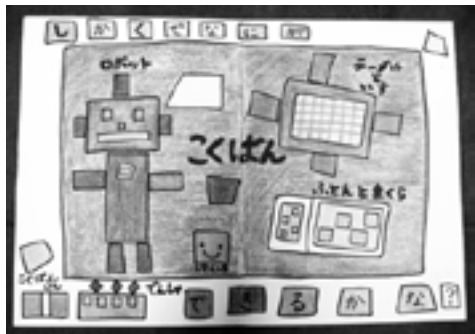
浮世絵で有名な葛飾北斎はいまから百数十年前、江戸時代末期に、誰で



○をもとに（『なにかができるかな?』より）



△をもとに（『なにかができるかな?』より）

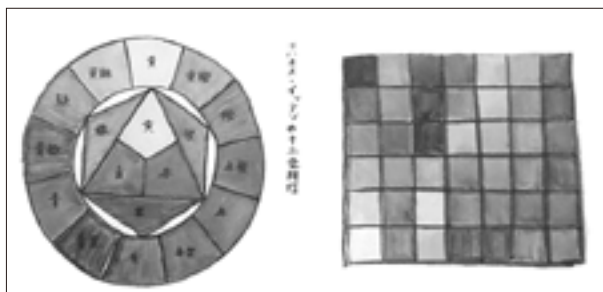


□をもとに（『なにかができるかな?』より）

も簡単に絵を描くことができるように、コンパスと定規（○△□）を組み合わせて描く手本『略画早指南』・『一筆画譜』などを出版しました。当時、大人も子どもも夢中になって模写をしたといわれています。

現在、書店で売っている『エンバリーおじさんの絵かきえほん』のシリーズ（偕成社）は北斎の考えに似て、絵を描くことが苦手な人でも○△□を組み合わせて簡単に描く方法を教えています。

学生が作った『なにかができるかな?』という絵本は、小さな子どもに○△□の



十二色相環

試し塗りの方眼紙

基本的なかたちで、さまざまなものを描くことができると気づかせることができます。

### 色を塗るなら赤・黄・青を混ぜる

線を生かしてかたちを描くと色塗りは簡単です。赤・黄・青の三色の絵具だけで百色どころか何千、何万色も無限に作り出すことができます。ただし、白と黒は作ることができません。黄に少しだけ赤を混ぜると人物の肌色になります。黄に青を混ぜると若葉から深緑の葉の色まで作ることがができます。白は何も塗らずに紙の地色を生かします。白の絵具を混ぜると線が鈍くなります。黒っぽい色がほしい時は青を多くして赤と黄を加えると、黒に似た暗い灰色になります。どうしても黒が塗りたい時は墨を使います。

このように赤・黄・青の絵具だけで混色すれば、ページをめくっていつでも色の調和がとれます。また、後片づけも簡単です。筆をよく洗って乾燥させるだけでパレットは洗わなくてすみます。パレットに残った絵具は乾燥しますが、水でぬらした筆で溶け出し、また使うことができますので無駄になりません。

上の図は、学生が赤・黄・青の三つの水彩絵具を混ぜて彩色した十二色相環と試し塗りをした方眼です（口絵三ページ参照）。この三原色の混色方法は、絵具を使い始める子どもに教えてほしいことです。絵本作りだけでなく、絵を描く



時にもデザインの学習にも役立つ混色の基礎知識です。十二色相環は、ドイツの総合造形学校バツハウスの教師、ヨハネス・イッテが学生に色彩の基礎知識をわかりやすく教えるために九十年ほど前に工夫したのですが、いまでも色の学習に役立ちます。

「鉛筆で描いた下絵はよかったのに色を塗ると失敗をよくした」という学生も、この三原色だけで千色も一万色も自分で作ることを理解して、絵を描くのが楽しくなったそうです。

## 二・身近なところに絵本の種を見つける

わたしのすきなもの

「幼児の造形表現」の授業は、幼稚園教諭や保育士の免許を取得したい学生や、幼児教育や絵本に関心をもっている学生が受講します。毎年、一月から二月にかけて学生たちは自分たちで作った絵本を多くの人に見ていただくために、構内にある教育資料館で『みんなの手作り絵本展』を企画運営します。教育実習に行く前の学生が多く、地域の人たちや子どもたちに簡単な絵本作りを伝える工夫をします。

手作り絵本展の会場で、誰でも自由に参加して手作り絵本を作る時に、初対



『わたしの家族』 父・母・犬・わたし・弟

面の学生と子どもが「好きな食べものは?」「好きな動物は?」と話し合うと穏やかな雰囲気になります(口絵「わたしのすきなもの」五ページ参照)。

絵本の種は身近なところにいくらでもあります。新聞カラーページを好きなくだものかたちに手でちぎり、画用紙に糊づけすると、絵本作りの第一歩を踏み出すことになります。ハサミできちんとかたちを切り抜くよりも、少々歪んでいてもいいので手でちぎるとあたたかい感じがします。幼い子どもからお年寄りの方まで「わたしのすきなもの」というテーマは絵本作りに取り組むきっかけになります。

少なくとも四種類のを貼り絵にします。この時注意するのは、一枚の画用紙にたくさんものをいっぺんに貼りません。一枚だけの絵を見るのではなく、絵本はページをめくってつぎに何が描かれているのか想像する楽しさがあるからです。

### わたしの家族

人間の絵を描くのはたいへんむずかしい。いつも見ているのでつい、似ている。似ていない、手足のバランスが悪いなど、欠点ばかり気になってうまく描くことができにくいからです。そこで、背が高い・低い、太っている・痩せているなどを比べて楕円形のちぎり絵で家族をあらわすと楽しくなります。家族ひとりひとりの



『わたしを動物にたとえたら…』

癖や特徴を簡単な文章でページの余白にそえるとこれも絵本になります。もう少し具体的に人物らしくあらわしたい時は、頭、胴、手、足の各部分をばらばらにちぎって貼り合わせると、全身がバランスよく表現できます。低学年の子どもが学ぶ「紙版画」の技法と似ています。とくに手と足は関節部分で曲げると動きをあらわすことができます。

わたしを動物にたとえたら・・・

三回生の学生が愛媛県の小学校(母校)で教育実習をしました。その時、指導してくださった六年生担任の先生と実習生と一緒に考え出した教材が『わたしを動物にたとえたら…』という絵本です。「四時間で小学校六年生が絵を描き製本して作り終える」という条件で取り組みました。

一枚にあまり凝った表現をすると時間が足りなくなります。そこで素材は新聞のカラーページ・マーカー・色鉛筆を用意しました。絵本の構成は子どもに自由に任せるのではなく、つぎのように指定しました。

第一場面 自分をたとえる動物

第二場面 なぜ自分がその動物なのかの理由

第三場面 その動物を通して自分へのメッセージ

三場面だけの絵本ですが、ハードカバーの表紙(表紙は時間の都合で

実習生が用意しました)をつけると、本屋さんで売っているようなすてきな絵本になりました。

六年生の子どもは「なんでもあきらめ、尻尾を切って逃げるとかけ」、「肉食が大好きだから恐竜」、「力が強く目つきが悪いからライオン」など自分の特徴を見つけて絵本作りに取り組みました。

このテーマは子どもだけでなく、地域の人たちにも学生たちにも好評で、それぞれ自分を見つめておもしろい絵本を作ることができました。

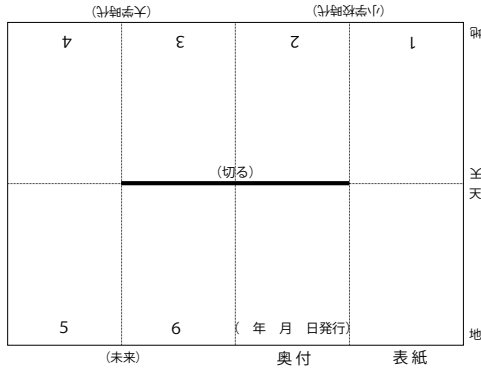
### 三・一枚の紙から絵本を作る

#### 一枚の紙を折って切る方法

新学期になり新しい友だちと出会う時に、自分の特徴を絵と短い文章で自己紹介する絵本があれば和やかに会話が弾みます。十五分ほどあれば作ることができず。

まず、A3用紙をひとりに一枚ずつ渡します。それを机の上に横長に置き、四隅を合わせて二分の一の長方形に折ります。これをさらに左右から畳み込んで、四つの小さな長方形に折ります。

一度開いて八つの長方形ができていることを確かめます。右端、左端の長方形



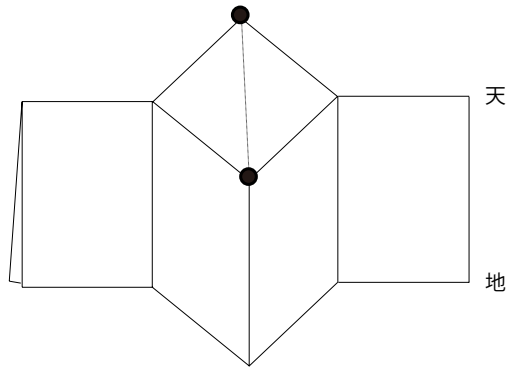
A3の紙の折り方と切り方

はそのままにして、真ん中の線の部分を切ります。切った真ん中のところをつまんで左右に開き、残りの部分を合わせると八ページ分のミニ絵本の用意ができます。表紙には自分の自画像を描き、次のページには自分の特徴を絵と短い文で描くことができあがりです。

### 大学生の自己紹介絵本

「初等教科教育法 図画工作」の授業は、小学校教員免許に必修で、百人ほどの受講生がいます。最初の授業でお互いのことを知るために、一枚の紙で自己紹介絵本を作ります。A3の紙（縦三十センチ・横四十二センチ）に図のようにページ番号と「表紙」「奥付」を書きます。一ページから二ページは小学校時代の自分、三ページから四ページは大学時代の今の自分、五ページから六ページは未来の自分を描き、短い文章を書き入れます。表紙のページには自画像を描き名前を書きます。奥付のページには、制作した年月日、自分の学籍番号と専修・氏名を書き、自分のシンボルマークをデザインして描きます。

鉛筆で描くと消してはかりで前に進みません。そこではじめにボールペンで輪郭線を描き、つぎに色鉛筆で色を塗ります。できあがったらまわりの人たちと交換してお互いのことを紹介します。



真ん中のところ(●)をつまんで左右に開く

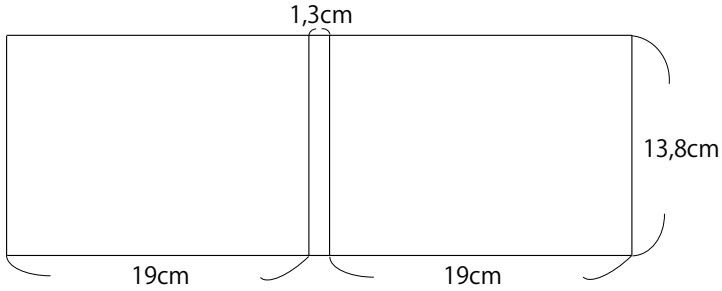
#### 「遠足のしおり」と「メモ・スケッチ帳」

遠足のしおりは大きすぎると邪魔になります。そこでA3の紙をハペー  
ジになるように折ります。そして中の四ページ分のところに切り目を入れ  
ます。そして真ん中をつまんで左右に開き、折り目をかえると簡単な本  
のかたちになります。天地を考えページをふって絵を描くと、遠足のしおり  
になるのです。この原本をもとにコピーをすれば一クラス分がすぐにでき  
あがります。

子どもが遠足にいった先で、見たもの聞いたことをメモしたりスケッチ  
したりする時にも、この「一枚の紙」は役に立ちます。八枚の紙の厚みに  
なるので鉛筆で記入することもできます。ポケットに入れて持ち運びがで  
きます。博物館や美術館ではボールペンは使用禁止で鉛筆を使います。

#### 四・折れ本型絵本を作る

日本の絵巻物は、和紙を糊で継ぎ足し長い巻紙にして絵を描いたもので  
す。学校で使う四つ切りか八つ切りの画用紙のように、決められた画面に  
描くのと違い、自分が必要な長さで自由に絵を描く楽しさは格別です。絵  
巻では時間と空間の広がりを描くことができます。しかし、巻物の状



厚紙の表紙

態では巻きもどすのが大変で本棚にしまうことができません。そこで長い紙を「お経の本」のように屏風折りに畳んで表紙をつけると保管しやすくなります。他の本と一緒に本棚に入れることもできます。

折れ本の形は自由に自分で決めるといいのですが、ここでは大学生が『二十歳の自叙伝絵巻』を作ったようすと、子どもと大人が毛筆ペンで折れ本型絵本を作ったようすを述べます。

### 二十歳の自叙伝絵巻折れ本型絵本

表紙は、今のように便利なファイルがなかった時、「美濃表紙」といって書類を綴じて保存する時に使われたものです。入手できない時は画用紙より分厚いしつかりした厚紙を使うといいです。

今回使ったのは縦二十七、六センチ、横三十九、三センチのものを二等分して、縦十三、八センチ、横三十九、三センチのものを使いました。それを上図の長さで折り曲げ表紙にしました。

絵を描く長い紙は機械漉きの奉書紙を使いました。小学校の子どもが木版画を摺る時に使うのが「機械漉きの奉書紙」あるいは「鳥の子紙」です。縦十二センチ、横百十センチを各自が必要だけつないで描きました。

少ない人でも三枚三百三十センチ、長い人は十枚つなぎ、千百センチにもなり



『二十歳の自叙伝絵巻』

ました。表紙におさまるように一センチの糊しろをとり、十八センチごとに折り目をつけ、屏風のように山折り谷折りを交互にして折っていきました。

描く前に折り目をつけると絵が伸びやかに描けないので、描いた後で折り目を入れてください。絵を描き終わったら、表紙の裏側の糊しろに糊をつけ貼りつけます。

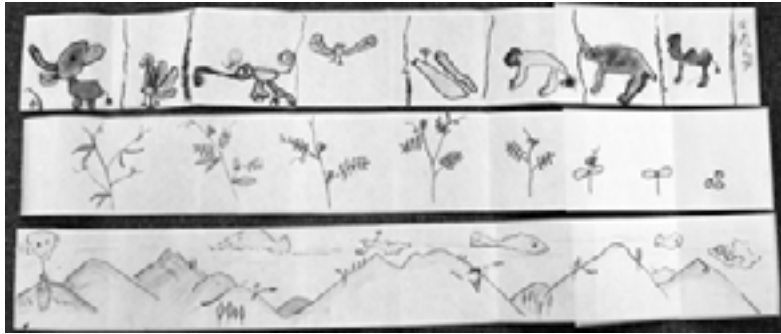
鉛筆で下書きをすると線の表現がかたくなります。そこで何を描くのかアイディアスケッチを別の紙に自由に描き、それを参考にして毛筆と墨で思いきって本紙に描くようにしました。

学生は毛筆に慣れるまでは戸惑いながら描いていましたが、書き直しのできないので集中して緊張感のある線を引くことができました。鉛筆で書き直していた時とちがひ、伸びやかな線で人物の動いている感じを表現することができました。墨がよく乾いてから絵具の三原色（赤・黄・青）を混色して自分の色を作り出して塗りました（二十三ページ参照）。

#### 「手作り絵本を楽しむ会」で作った折れ本型絵本

平成十九年十月から平成二十年三月まで、毎月一回土曜日の午後、二時間ほどで完成する簡単な絵本講習会「手作り絵本を楽しむ会」を大学





①

②

③

折れ本型絵本

の構内で開きました。誰でも参加することができるようになりました。

上の三冊の折れ本型絵本は、講習会に参加した六歳の男の子(①)とお母さん(②)、そして文庫活動をされている方(③)が作ったものです。

男の子は大好きな恐竜の仲間をたくさん描きました。お母さんは豆が成長するようすを順を追って描きました。文庫活動をしている人は、魚が空を飛ぶ空想的なお話を絵本にしました。

この三人の人たちは、毛筆で絵を描くのも絵具の三原色を混色して色を塗るのも初体験でしたが、それぞれ自分が興味関心をもっているものを毛筆ペンで楽しそうに短時間で描いていました。色も独自の混色をして、絵の雰囲気にあった彩色ができました。

### 中学生の『沖縄修学旅行絵巻』の折れ本型絵本

奈良教育大学を十年前に卒業して美術の教師になった人が、大学生の『二十歳の自叙伝絵巻展』を見て、中学生に「沖縄修学旅行絵巻」の授業を試みました。人物画を描くのが苦手な中学生たちが、自分と友人、沖縄で出会った人たちを毛筆で描き、三原色を混ぜて色を塗りました。描きはじめるまでは、躊躇してなかなか筆が進まなかったようです。

美術を担当する先生が生徒たちのままで手や足を動かし、関節ごとに曲が

ることを気づかせ、時には動いている人物の略画を黒板に描いて見せたそうです。そうすると生徒は描く手がかりを掴み、毛筆を使いはじめると集中してぐいぐい描き進めました。いままで鉛筆で下絵を描く時とちがって、毛筆は描き直しができないので思いのほか短時間で線描きをしました。

さらに、赤・黄・青の三原色だけ絵具を出し、混色して墨線の上から彩色すると、色が濁らず、楽しみながら美しい彩色ができたそうです。いままで絵を描くことが苦手だった生徒も、力強い毛筆の線で多くの人物を描き、修学旅行の思い出を描くことができた達成感で満足しました。

わたしは中学三年生の生徒全員が質の高い絵巻を描いたことに感動しました。そこで百二十六点全作品を借りて、奈良教育大学の教育資料館で開催中の大学生の二十歳の自叙伝絵巻と一緒に展示しました。中学生が一筆一筆こころを込め真剣に描いた絵巻のすばらしさに、大学生も地域の方々もたいへん驚きました。



中学生の『沖縄修学旅行絵巻』の折れ本型絵本



中学生の『沖縄修学旅行絵巻』の折れ本型絵本

## 五・ソフトカバーの絵本を作る

ここで紹介するソフトカバーの絵本は、「手づくり絵本の会 プラス」の代表者である山岸清太郎さんが考え出した方法です。紙と糊と色鉛筆だけで絵本を作ることができます。手作り絵本の基礎を学ぶ上でたいへん有効なやり方です。

先年、奈良県立美術館が開催した『プラスティラバ絵本原画展』の期間中、たくさんの方が山岸さんの考え出した方法で手作り絵本を楽しみました。また、奈良教育大学教育資料館で学生たちが企画運営する『手づくり絵本展覧会』のイベントのひとつとして、山岸さんをゲストティーチャーとしてお迎えし、幼児から高齢の方まで毎年ソフトカバーの手作り絵本を楽しんでいます。

次に掲げるのは山岸さんが作ったマニュアルです。

1. 次の材料を用意します。※特に用意する道具はありません。
  - ・ 八つ切り半分程度の大きさの画用紙五枚と、同じ大きさの色画用紙二枚
  - ・ 口紅型の糊（小さいものでよい）
  - ・ 絵を描くための画材（クレヨン、クーピー、色鉛筆）。クレパスはなるべく使わないこと
  - ・ 糊が余計なところにつかないように下敷きにする、表面がつるつるの広

告 チランシニく三枚

- 二. 最初に、四枚の画用紙に絵を描きます。画用紙は片面だけを使います。絵を描くのが苦手な人や、すぐには描く題材が思いつかない人は、「○△□」方式を試みてください。気軽に描画に着手することができると思います。
- 三. 絵が描けたら、絵を描いた方を内側にして四枚ともきちんと二つ折りします。
- 四. 二つ折りしたものを、向きを同じにして一枚目から四枚目まで順番に揃えます。
- 五. 色画用紙二枚も同じようにきちんと二つ折りして、同じ向きで一枚目の前と四枚目の後ろに置きます。これは「見返し」になります。
- 六. 順番に揃えた計六枚(画用紙四枚と色画用紙二枚)を糊で貼り合わせます。
- (一) 糊は、二つ折りしたものの外側(画を描いていない方)の左右両側に、幅二センチ程度つけます。上下にはつける必要はありません。
- (二) 糊は分厚く塗るのではなくて、ムラのないように塗りましょう。
- (三) 貼り合わせ終わったものを「本紙」といいます。
- 七. 残った画用紙一枚も二つ折りますが、真ん中に本紙の厚み分だけ幅を作るようにします。これが「表紙」になります。
- (一) まず紙の端から本紙の厚みだけずらせて二つ折ります。

(二) つぎに、一旦二つ折りを元に戻して、そのまま向きを反対にします。

(三) (一)と同じ要領で、また二つ折りします。

(四) もう一度二つ折りを元に戻して、真ん中に「本紙」の厚みだけの折り幅ができているのを確かめましょう。

八. 二つ折りした表紙の間に、本紙を挟んで糊つけします。

(一) 糊は、表紙の内側の、上下左右の辺に、幅二センチ程度つけます。

(二) 画用紙と色画用紙が同じ大きさなので、本紙が表紙からはみ出します。そのままにして、見返しの色を楽しんでください。

(三) ページを開くのは、糊が乾いてからにしましょう。

九. 表紙の表に「表題」と「作者の名前」を、表紙の裏に今日の日付を書きます。本で最初に目にするのは表紙ですから、目を引くように表題とデザインを工夫してみましょう。これで、ソフトカバーの手作り絵本が完成します。

この方法は、短時間で作れる、絵が四枚（八ページ）と柔らかい表紙という一番単純な絵本作りです。基本をしっかりと組み込んでいるので幼児の制作に適しているだけでなく、手作り絵本を作るのがはじめての大人にも適しています。なお幼児の場合は、保護者も一緒になって作りましょう。

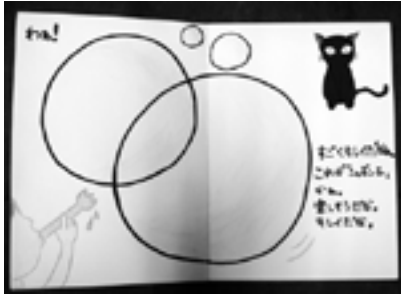
絵本を作った経験のない奈良教育大学の学生三十名にこのマニュアルを配布して事前の説明をしないで、いきなり絵本を作ってもらいました。

学生たちはマニュアルを熱心に読んで、ソフトカバーの絵本作りに取り組みました。はじめは一時間以上かかるのではないかと予想しましたが、早い学生は二十分ほどで仕上げることができました。色塗りにこだわった学生でも四十分ほどで作ることができました。色を塗るだけでなく色紙を貼りつける学生もいました。今回は○△□を使って絵を描き、あとで文を書き入れました。絵を描いた本紙は四枚だけでしたが、この発展として本紙を増やすことも自由にできます。学生の作品をつぎに紹介します。

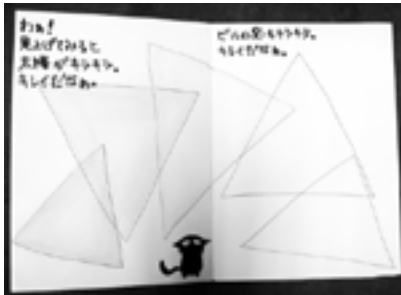
ソフトカバーの絵本

『クロのおさんぽ』

○△□をもとに、絵を描きました。



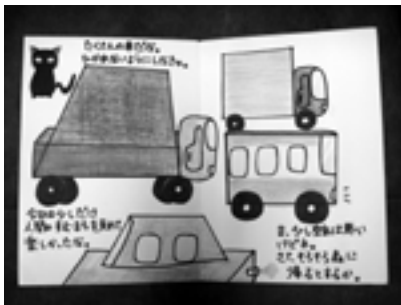
三



四



一



五



二



## 六・本の各部の名称

ここで本格的な絵本作りに入る前に、よく使われる用語の説明をしておきます。

### 洋装本（ハードカバー）製本の名称

#### ◆「表紙」と「背」と「みぞ」

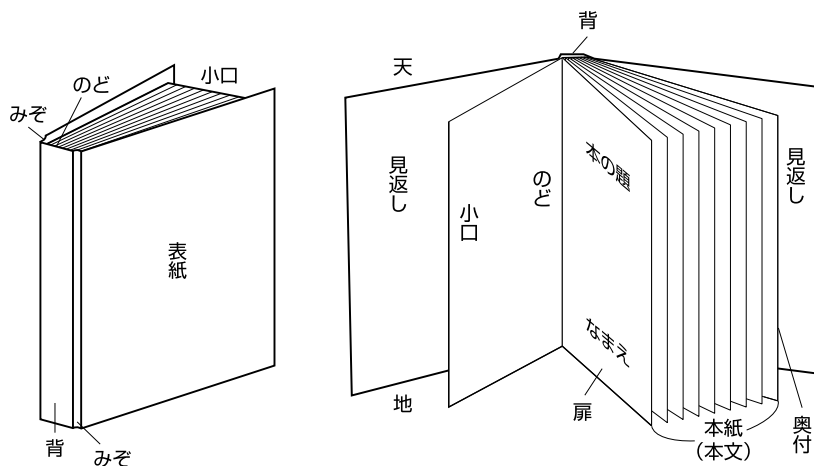
絵や文を書いた本紙を保護するためと、本の題名・作った人の名前を書くところです。ソフトカバーとハードカバーがあります。名のとおり表紙が柔らかいか、硬いかによって名称が決まります。このブックレットでは両方の作り方を紹介します。

ハードカバーの表紙には芯の厚紙とそれをカバーする色のきれいな丈夫な紙が必要で、制作手順が複雑になります。ミリ単位で紙の長さを測るので、小さな子どもがひとりで作るのは難しいです。

「表表紙」と「裏表紙」は二枚同じ大きさです。本紙の天から地の長さより六ミリ長くし、小口からのどの長さより二ミリ短くします。

本紙の文章を縦書きにするか横書きにするかによって、表表紙がどちらになるか考え、題名を書くように注意します。

「背」とは本紙の厚みに二ミリ加えた幅にし、長さは表紙と同じで、二枚の間



各部の名称

に置きます。この時、背と表紙の間にハミリの隙間をあけます。これを「みぞ」といいます。本紙のページを開きやすくするためです。

◆「本紙」あるいは「本文」

絵本は表紙と中身（絵と文が書いてある紙で、これを「本紙」あるいは「本文」という）からできています。文章が書いていない紙だけでも絵本になります。

手作り絵本では、本紙の枚数は自分が必要なだけページ数を増やすことができます。本紙の大きさも手作りでは自由ですが、大きすぎると製本の時に苦労します。学生が個人で作る大きな絵本は、八つ切り画用紙を二つ折りにして作る絵本が作りやすいです。十年ほど前の学生たちは、共同制作で四つ切り画用紙くらいの大きい厚紙で『桃太郎』の大型仕掛け絵本を作ったことがありました（七十ページ参照）。しかし、紙がそりやすく、製本すると重くなりひとりひとりで開け閉めがしにくかったようです。学生の手作り絵本の本紙は、制作時間の関係で四枚から八枚までの枚数です。時には一枚の紙で作ることがあります。あるいは

は細長い紙をつなぎ合わせて一枚にして屏風畳みにして表紙に貼ることもできます（作り方は三十ページ参照）。

◆「扉」と「奥付」

扉には本の題名と作者の氏名を書きます。絵をそえるとなおよくなります。表紙のつぎに見返し、そのつぎが扉になるのが本式です。奥付は最後のページに本の題名、作者の氏名、出版した年月日、定価・仮の出版会社名を書きます。

◆「見返し」（表見返し・裏見返し）

見返しの紙は表紙と本紙を糊つけする役目をします。「表見返し」は扉の前、「裏見返し」は奥付のうしろへ糊つけします。

◆「天」と「地」

本の上の部分を「天」、下の部分を「地」といいます。

◆「のど」と「小口」

本紙を二つ折りにして輪になった方が「のど」です。二枚に開く方が「小口」です。

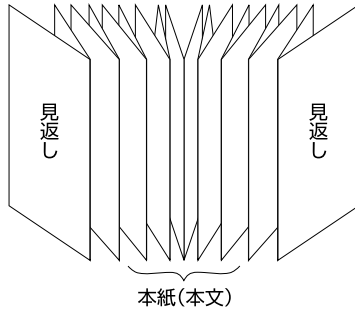
## 七・ハードカバーの絵本を作る

今まで述べてきた絵本の作り方は、一枚の紙を折り曲げて表紙をつけました。ここでは厚くて硬い表紙の絵本を作るための製本の方法を述べます。

表紙の芯にする厚手のボール紙を三つのパーツ（表表紙の芯・背の芯・裏表紙の芯）に切り分け、それを糊づけして作ります。上製本といわれる本屋さんの店先に並んでいるような本格的な製本です。複雑そうに見えますが、基本的なことをきちんと理解すると、大きな本でも小さな本でも応用できます。つぎに「ミニ絵本」と「デジカメ写真絵本」と「飛び出す絵本」を紹介しますが、すべてハードカバーで製本しています。

### 用意する材料と道具

- ・ 本紙（ソフトカバーの絵本と同じ画用紙）
- ・ 見返しの紙
- ・ 表紙にする紙（色画用紙、包み紙など）
- ・ 表紙の芯にするボール紙（紙の菓子箱を分解して再利用、など）
- ・ 小さな本は一ミリほどの厚みのボール紙でもいいですが、B5判の大きさより大きな本は二ミリの厚さのボール紙を使うとしっかりした表紙になります。



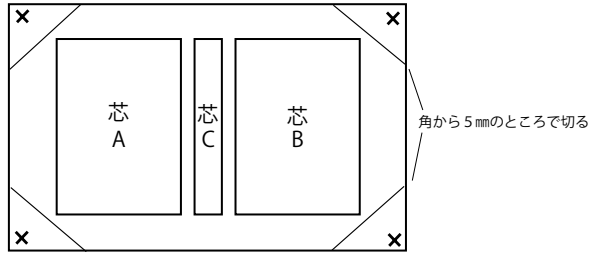
- ・厚いボール紙が手に入らない時は、薄いボール紙を貼り合わせて使います。
- ・伸びない包帯二枚（奈良に住んでいる人は未使用の「かやふきん」をお勧めします。一枚は表紙の背と左右のボール紙をつないで補強するために、もう一枚は本紙を貼り合わせたところがはがれないようにするために使用）
- ・三十センチのものさし
- ・カッターナイフ（大型のものをお勧めします）
- ・カッターマット

・糊と速乾性ボンド（糊は口紅型のほか、澱粉糊や合わせ糊などがあります。それぞれの性質を知り、使う場所に合わせて選んでください）

### ハードカバー製本の手順（一） 中身（本紙）を作る

- 一. ソフトカバーの作り方を参照してください。
- 二. 絵を描いた「画面」の素材の大きさを揃えます。
- 三. 「画面」ができたら、右開き（文章を横書きにする）か左開き（文章を縦書きにする）にするかを決めて、裏にページ番号を書き、その順番に揃えます。
- 四. 「絵」が内側になるように二つ折りし、糊づけして貼り合わせます。見返しも同じように貼りつけます。

五. 貼り合わせた「画面」と見返しの背に糊（速乾性ボンド）を塗って、紙と紙



X・・・キリトル

表紙の芯の置き方

の間の隙間を埋めます。

六、糊を塗った背の上に包帯を貼りつけます。

包帯の寸法は、縦より上下五ミリずつ短く、横より一センチずつ長くとりま

す。乾くのを待ちましょう。糊が机などにつかないように注意しておきましょう。

### ハードカバー製本の手順 (二) 表紙を作る

次に表紙の部分を作ります。ソフトカバー製本と違って、ハードカバーの製本は寸法をきちんととり、手順を間違わないようにすることが重要です。

一、表紙の芯にするボール紙を切り出します。

(一) 「本紙」の寸法を測ります。

測る箇所は、縦(天と地)・横(背と小口)・厚み(背側)で、ミリ単位で記録します。

(二) (三枚のボール紙(「芯A・B・C」)を寸法に合わせて切り出します。

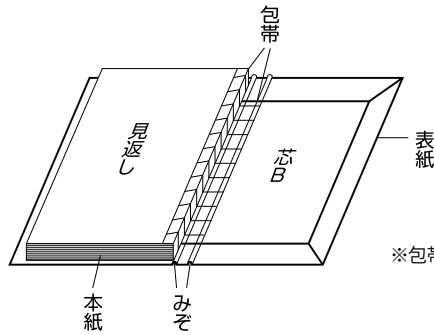
「芯A」と「芯B」は「縦の寸法プラス六ミリ、横の寸法マイナス二ミリ」

「芯C」は「縦の寸法プラス六ミリ、厚みプラスボール紙二枚分の厚み(一ミ

リと二ミリの間)」

二、表紙にする紙の裏側に、「芯A・B・C」を置く位置を書きます。

- (一) 紙の下端と左端から、それぞれ二十ミリ(二センチ)幅の糊しろをとります。
  - (二) 糊しろの内側の線に合わせて「芯A」を置き、鉛筆で位置を書きます。
  - (三) 糊しろと反対側の「芯A」の端に沿って、八ミリ幅の「みぞ」をとります。
  - (四) 「みぞ」の次に「芯C」を置き、鉛筆で位置を書きます。
  - (五) そこから、また八ミリ幅の「みぞ」をとります。これで「芯C」の両側に八ミリずつの「みぞ」ができました。
  - (六) 「みぞ」の端の線に合わせて「芯B」を置き、鉛筆で位置を書きます。
  - (七) 「芯B」の右端から、(一)と同じように二十ミリ(二センチ)幅の糊しろをとります。
  - (八) 鉛筆で位置を書いた時に、「芯A・B・C」の上端にも線を引いているので、その線から(一)と同じように二十ミリ(二センチ)幅の糊しろをとります。
- 三. これで、周囲に二十ミリ(二センチ)幅の糊しろ、中央に二本の「みぞ」をもった表紙の材料ができあがりしたので、不要な部分を切り離します。
- 四. 位置を描いた部分に糊をつけ、「芯A・B・C」を貼りつけます。
- (一) 糊は上下左右に、二十ミリ(二センチ)程度の幅でつけます。
  - (二) 糊は、分厚く塗らないで、薄くてよいから塗リムラのないように塗ります。
- 五. 中央の「みぞ・芯C・みぞ」の部分に糊をしっかりとつけて、包帯を貼りつけます。
- 包帯の寸法は、芯の縦より上下五ミリずつ短く、横より一センチずつ長くとり



表紙と本紙の組み立て

ます。四隅を四十五ページの図のように切りとります。

六、上下左右の糊しろを折り曲げて、糊をしっかりとつけて貼りつけます。

(一) 貼りつける順序は、上下↓左右の順です。

(二) 上下を貼る時に、左右の端を少し折り込んで貼ります。

(三) これで表紙の部分ができました。糊が乾くまで少し待ちましょう。

### ハードカバー製本の手順(三) 組み立て

表紙の部分がきたら、折り曲げて「本紙」を挟んで組み立てて接着します。

一、表紙の背(芯C)に沿って折り曲げ、本紙を挟み込み、馴染ませます。

二、表紙の右側の上に、背を内側に向けて本紙をのせ、見返しの上下左右に、

二十ミリ(二センチ)程度の幅で糊を塗ります。

三、左側のみぞにボンドを塗ります。この時、芯Cにボンドがつかないように注意してください。

四、そのまま反対側の表紙の部分を、本紙の上に伏せて見返しと接着します。

(一) 伏せる時に、表紙の部分の背と、本紙の部分の背との間に隙間がでないように、左手の指で表紙の背を押さえ、右手の指四本で本紙の小口を押し込みます。

(二) 軽く押さええた後、そっと開いて、見返しが「表紙の部分」の裏に均等に接



着していることを確認します。

五、もう一方も同様にして接着します。

六、親指の腹で「みぞ」の部分をそっと押さえてかたちを整えます。爪を立てないように注意します。

#### ハードカバー製本の手順（四）仕上げ

最後に表題（題名）と表紙のデザインを決めて描くと、手作り絵本の装丁が完成します。表紙の装丁ができあがったら、平らな台の上に背の部分をはみ出すように置き、上から大きな辞書、あるいは百科事典のようなもので、おもしろい一晩かけると糊がよくつき、表紙がびんと伸びます。

#### ◆装丁から手を抜くな

##### 《学生の感想より》

「題名や表紙の絵は、お話の内容が気になり思わず手にとりたくなるように考えられているのではないかと感じました。そして裏表紙にも内容に関連し、また、ストーリーの続きを連想させるような絵があり、本一冊の細部にまでこだわり作られていることがわかります。」

#### ◆「読んで」と呼びかける表紙

本の体裁を整えるのを装丁といいます。つまり、印刷した紙をとじて表紙をつけ書物のかたちにすることで、造本上の意匠や技術のことです。手作り絵本に限らず、書物で最初に目につくのは表紙のデザインと題名であり、製本のできばえです。

普通、手作り絵本を作る時には、当然のことながら中身に全力を投入します。そのため、表紙のデザインと題名は後回しになり、悪くいえばつい手を抜きがちになります。しかし、人は普通、中身よりも先に表紙のデザインと題名に惹かれるわけですから、表紙のデザインと題名からも手を抜いてはいけません。

本屋や図書館でいろいろな種類の書物をたくさん見ることは大いに役立ちます。

#### ◆糊とカッターは使いよう

作品を見ただけではわからない道具と材料についての注意事項を話します。

#### ◎できるだけ身近にあるものを

道具も材料も、できるだけ身近にあるものを最大限に活用しましょう。高価な道具や材料が、よい道具・よい材料であるとは限りません。ただ、カッターと画面を作る用紙、台紙と糊は、良質のものを使った方がよいと思います。

◎カッターは危険物ではない

カッターは、正しく使えば決して危険物ではありません。

・カッターは、正しく使えば決して危険物ではありません。

・カッターは、正しく使えば決して危険物ではありません。

・カッターは、正しく使えば決して危険物ではありません。

・カッターは、正しく使えば決して危険物ではありません。

・カッターは、正しく使えば決して危険物ではありません。

以上を守れば、カッターは安全であるだけでなく、ハサミよりもはるかに安

価で使いやすいものです。

◎糊はよくつく(どこにでも)

よい糊はよく接着します。そのかわり接着しては困るものもくっつけてしま

います。

・使う時は表面をコーティングした紙(広告チラシなど)を下敷きにするこ

・使う時は表面をコーティングした紙(広告チラシなど)を下敷きにするこ

・使う時は表面をコーティングした紙(広告チラシなど)を下敷きにするこ

・使う時は表面をコーティングした紙(広告チラシなど)を下敷きにするこ

・使う時は表面をコーティングした紙(広告チラシなど)を下敷きにするこ

・使う時は表面をコーティングした紙(広告チラシなど)を下敷きにするこ

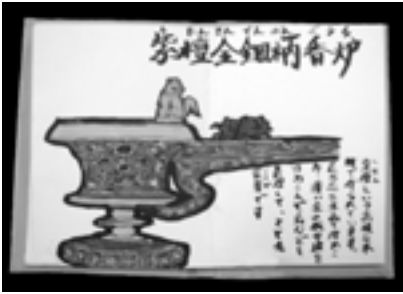
- ・生乾きのうちにいじらない
- ・仕上げに軽くおもしろをかけておく

◎意外に役立つ三角定規

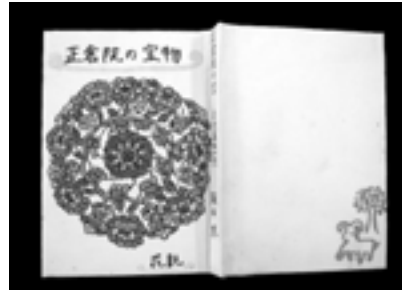
手作り絵本のできばえを格好よくするためには、用紙の寸法をミリ単位で測る必要がありますが、ちよつとした寸法を測るのに長い物差しを使うのは面倒です。また、用紙の隅が直角になっていないと歪みが出ます。ところが、市販の用紙の隅が必ず直角になっているとは限りません。

短い寸法をこまめに測ったり、用紙の隅が直角であることを確かめる時、小さな三角定規が意外に役立ちます。

この製本法は、絵本だけでなく写真のアルバムや資料の保存、雑誌・テキストの合本など応用範囲がひろいので、工夫してみてください。



『正倉院ミニ絵本』(本紙)



『正倉院ミニ絵本』(表紙)

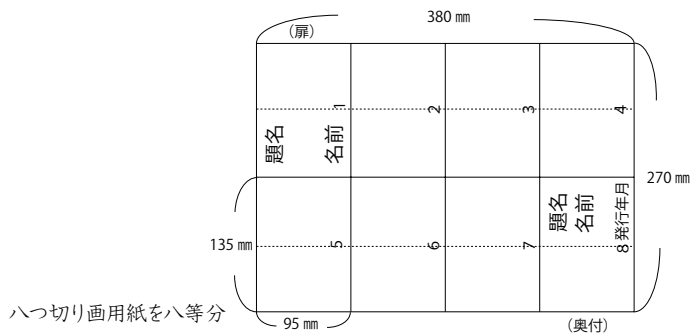
## 八・ミニ絵本を作る

わたしがミニ絵本を作ることになったのは、正倉院展の宝物を見たのがきっかけです。千数百年も前に作られたものがすぐ傍で見ることができた感動を残したいと思いました。奈良時代に毛筆と墨で描いた文字と絵が今ものこっているのです。

そこで、わたしも墨と筆で正倉院の宝物のかたちを描き、赤、黄、青の三色を混ぜて色を塗りました。掌にのる小さい本ですが、ハードカバーをつけたので大きな絵本の製本方法と手順は同じです。

小学校教員免許に必修の「初等教科教育法 図画工作」を受講する学生と、正倉院展に毎年でかけ、鑑賞授業をしています。子どもを引率してきた時に教師として配慮すべきことを考え、また子どもが鑑賞する時の手引きとなるように「正倉院ワークシート」を作成するなどしています。さらに卒業後、全国各地で教職につく時に日本の伝統文化のすばらしさを子どもに伝えるために『ミニ絵本・正倉院』として作れば効果的だと考えました。

見ただけでは感動が薄れてしまいますが、絵に描こうとすれば見方が鋭くなります。さらにミニ絵本にすると引越しても持ち運びが楽です。しかし、百人近い学生が受講するので、準備と指導が大変です。そこで効果的な指導方法をいろ



いろいろ工夫しました。

### 準備するもの

- ・ 薄いハつ切り画用紙一枚 (本紙)
- ・ 伸びない包帯 (幅五十ミリ・長さ九十ミリ)
- ・ 一ミリ厚のボール紙 (縦百ミリ・横六十五ミリ、芯の厚紙)
- ・ 色画用紙 (縦百三十五ミリ・横百九十一ミリ、表紙)
- ・ 糊と木工ボンド (あるいは速乾性接着剤)

### 作る手順

- 一、図のようにハつ切り画用紙を八等分します。
- 二、一枚は扉、一枚は奥付、六枚が中身になります。
- 三、先に毛筆で絵を描き、余白に毛筆あるいはボールペンで文を短く簡潔に書きます。小学生が読みやすいように漢字にふりがなをつけます。
- 四、墨が乾いてから三原色の絵具を混色して色を塗ります。

これ以後の製本の仕方は、「七・ハードカバーの絵本を作る」で述べたとおりです。大きくても小さくても製本の手順は同じです。

④たいそうをする

③手をひねりだす

②足をひねりだす

①粘土を人形型に



粘土のたいそう

## 九・デジカメで写真絵本を作る

### 粘土のたいそう絵本

学生たちは粘土で人物を作り、デジカメで撮影して簡単な文章をそえて絵本を作りました。

美術教育の中で土粘土の教材は「汚い・重たい・壊れやすい」という理由で先生方から敬遠されがちです。油粘土は使われますが、子どもは「臭い・べとつく・のつべりする」といって嫌います。

わたしは大地から生まれた自然の素材である土粘土をもっともつと使ってほしいと願っています。大学生は乾いて硬くなった古い粘土を柔らかくするところから教材研究をはじめます。砕いて水をかけ、素足になり全体重をかけて足の裏で練ると元の柔らかさになります。土粘土は焼くと元に戻りませんが、固くなったものは繰り返し何十年も何百年もリサイクルできるすばらしい素材です。再生した粘土で人物を作り、すぐにデジカメで撮影して、さらにおなじ粘土のポーズをかえて撮影して、枚数が増えると絵本作りの種になります。

一時期、クレー（粘土）アニメが子どものこころをとらえ、人気を博したことがありました。土粘土は子どもたちの成長発達により影響を与えます。詳しい



台紙に糊づけする



写真を切り抜く

ことは拙著『粘土細工から彫塑教育へ』（明治図書出版）を参照してください。

### 「粘土のたいそう」の方法

一、まず、一キロの粘土で二人の人物を作ります。ここではお父さんと子どもを「ひねり出し」の技法で作ります。ひねり出しの技法というのは、粘土を人參のようなかたちにして五十四ページの図のように手足をひとつづきに作りま  
す。そうすれば動きを自由にあらわすことができます。しかも、手足をばら  
ばらに作ってくっつけるやり方と違って、壊れにくいです。

はじめに背の高いお父さんと背の低い子どもを作り、ふたりの組み合わせを  
変化させてデジカメで撮影します。多い目に撮影して絵本に使用したい写真を選  
びます。選びながらお話を考えます。

二、選んだ写真をプリントしますが、拡大したり縮小したりしてお話にあつた効  
果的な場面を決め、プリントアウトします。カラープリントよりも白黒で印刷  
して、台紙をカラーの紙にした方がよく見えます。

三、粘土の人物だけ切りとって台紙の上で斜めにしたたり、時には逆さにするなど  
して画面を構成します。決まれば糊づけし、空いたところにお話を書きます。

四、写真を貼った方を内側にして二つ折りにし、裏側を糊つけします。あとはハー  
ドカバーの製本の仕方の手順を守って丁寧に作りましょう。





科学絵本『リュウゼツラン』(本紙)



科学絵本『リュウゼツラン』(表紙)

この方法を応用して人物と動物を組み合わせてお話を作り、動物の手足もひねり出しの方法で作ると、さまざまな組み合わせができます。

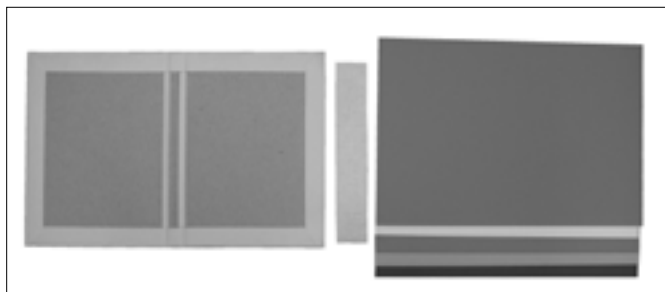
### 観察記録で科学絵本

奈良教育大学の大学院生が、六十年に一度しか咲かないといわれている「リュウゼツラン（竜舌蘭）」の観察記録を修士論文に書きました。構内でリュウゼツランが咲いたというニュースが放映され、多くの人たちが見に来ました。

そこで、子どもにわかりやすく説明するために、デジカメで撮影した花の成長記録の写真をA3の大きさにして紙芝居を作りました。さらに、その紙芝居をA4の大きさの絵本にしました。

このように紙芝居から絵本にすることもできます。紙芝居はお話を裏に書きますが、絵本は写真の横にお話を書くので画面の構成が難しいですが、工夫するとすばらしい科学絵本を作ることができます。

小学生なら、ひまわりや朝顔の観察日記をデジカメ写真を使って絵本にすることがができます。



(左から) 表紙 包帯 本紙

## 十・飛び出す絵本を作る

「紙の魔術師」といわれるロバート・サブダは『不思議の国のアリス』・『恐竜時代』・『クリスマス・アルファベット』などつぎつぎすばらしい仕掛け絵本を出版し続けています。彼が飛び出す絵本を作るようになったのは、子どもの時に歯科医院の待合室でポップ・アップ絵本に出会い、その感動がいまも創作活動の原点になっているそうです。飛び出す絵本は仕組みが複雑で、子どもでは作る事ができないと思われるがちです。しかし、複雑そうに見えるものでも、じつは基本的な仕組みをいくつか組み合わせてできています。

奈良教育大学の「ならやまオープンセミナー」の公開講座で飛び出す絵本を作りました。参加者は三歳の子どもから七十一歳の方まで二十八名が参加しました。幼児は保護者と一緒に作りましたが、六歳児は五種類の仕掛けをひとりで作りました。その方法をここで紹介します。

### 準備するもの

- ・ 白の画用紙に印刷した型紙
- ・ 台紙にする色画用紙
- ・ 色鉛筆あるいはクーピー、ハサミ、糊、糊づけ用の広告紙、伸びない包帯



「顔」の型紙

### 作る手順

公開講座では時間が限られているので、ハードカバーの表紙は学生たちが前もって作っておき、それを参加者に渡しました。また、個々で作る場合は、仕掛けを先に作って台紙に貼ってから製本します。しかし、この講習会では、はじめに製本をしてから次に仕掛けの部分を作って台紙に貼りつけました（製本については「七・ハードカバーの絵本を作る」を参照してください）。ここでは基本的な飛び出す仕掛けについて述べます。

#### 飛び出す仕掛け

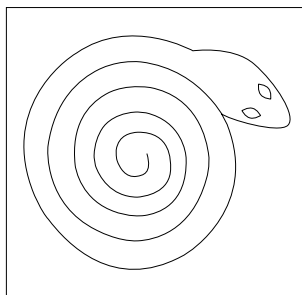
##### ◆ 「顔」（二つ折りにした紙に切り込みを入れて折り曲げる方法）

型紙は丸坊主ですが、自分の好きな髪型にして色を塗り、二つ折りにして頭から耳の手前までとあ、このところに切り目を入れます。鼻、口、襟首のところにも短い切り目をいれます。

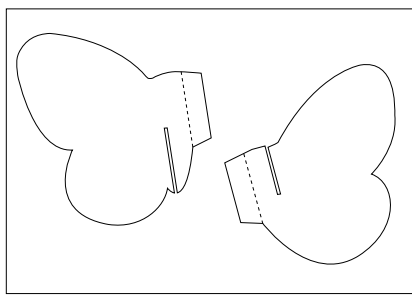
耳のところを通して左右を谷折りにします。これを台紙に貼って顔の部分を引き出します。鼻の下と下唇のところを押してくぼみをつけます。こうすると開き方によって表情が変化しておもしろいです。

##### ◆ 「家」（四角い箱を作り、二面を折り畳む方法）

壁の部分と屋根の部分に色を塗り、まわりをハサミで切りとります。はじめ四



「蛇」の型紙



「蝶」の型紙

面の壁を折り曲げ糊しろのところを接着します。さらに向かい合った五角形を谷折りにします。

屋根を山折りにします。煙突が突きでるように、屋根のしるしのところをカッターで切り、ここに壁についている煙突を通すと屋根が固定できます。最後に台紙に貼りつけます。

◆「蝶」（二枚の紙に切り込みを入れ、組み合わせる方法）

二枚の羽に色を塗ります。切りとってそれぞれの羽にハサミで切り目を入れます。つぎに切り目のところで二枚の羽を差し込みます。足の下の糊しろを折り曲げて台紙に貼りつけます。

◆「蛇」（らせん状に切り込みを入れて二箇所を糊つけする方法）

渦巻き型の型紙の裏と表両面に色を塗ります。線にそってハサミで切ります。二つ折りにした台紙の片側にのせて頭の部分の裏側を糊づけします。最後に尻尾のところ糊がはみ出ないように塗り、片側の台紙をのせて接着します。糊が乾いてから開くと蛇の体がすると伸びます。

◆ツリー（二枚の紙に切り込みを入れ、片方を折り曲げる方法）

二枚のツリーの型紙の裏と表の両面に色を塗ります。切りとってそれぞれ切り目を入れます。短い切り目の方は下の部分の折れ線に沿って左右が対象になるように折り曲げます。二枚を組み合わせ、長い切り目を入れた方が台紙の折り目に

垂直に立つように、糊しろを左右に分けて糊つけします。短い方の切り目を入れた方は糊しろを左右に分けて糊つけします。その時四つの糊しろが台紙の上で円になるように貼りつけます。これが一番難しいようです。

◆「くま」（一枚の紙を放射状に折り目をつける方法）

型紙に色を塗り、目、鼻、口を描き込みます。切りとって点線に沿って折り目をつけます。おへそのところを中心にして山折りと谷折りのしるしに注意して折ります。腰から下の部分を台紙に糊つけすると上半身が飛び出ます。

学生たちは、公開講座の前に同じ型紙を使って飛び出す仕組みを研究しました。それをもとにしてひとひねり工夫を加え、ユニークな飛び出す絵本を作り出しました。それをいくつか紹介します。



一



『おばけの日』(表紙)

◆ 『おばけの日』

ハロウィンの祭をテーマに選んでいます。

家族がそれぞれ工夫をこらして「おばけ」になったおもしろい仕掛けをしています。

一. 大きなM型に折った紙にこうもりの羽を左右につけます。

その上に小さなM型に折った紙を二段に重ね、顔の部分を谷折りにして糊づけしています。



三



二

二、傘のかたちの紙を六枚用意し、谷折りにして貼り合わせています。  
三枚目に大きな一つ目を描きます。

三、幅三センチ長さ三十センチの紙を五角形に折ります。  
底辺のところを谷折りにして棺おけのかたち糊づけします。四ヶ所に糊しろの紙をつけ足して台紙に貼りつけます。ドラキュラは谷折りにした紙で棺おけの底辺の近くに糊づけします。



五



四

四．ろくろ首は、紙を渦巻きのように切ります。

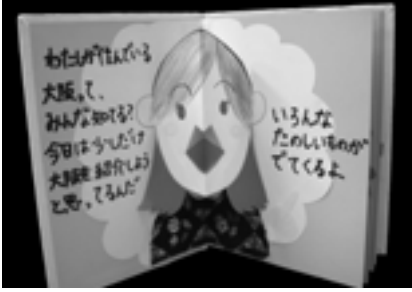
渦の中心の部分は胴体に糊づけします。渦の外側の端に顔を作って片方のペー  
ジに糊づけします（蛇の型紙から発展）。

五．山折りにした紙の鼻と口の部分に切り目を入れます。

鼻の下を押し込んで谷折りにします。先に頭のかたちを決めて耳の上半分まで  
切ります。

つぎにあごから耳の下半分まで切ります。耳のうしろで糊づけします。





一



『大阪ってどんどこ?』(表紙)

◆ 『大阪ってどんどこ?』

大阪に住んでいる学生は、道頓堀付近で目につくものを紹介する仕掛け絵本を作りました。

一、顔の型紙をもとにして自画像が飛び出すようにしています。

前ページの顔とちがうのは、耳の後ろで糊づけするのでなく、頭と胴体のまわりを切り捨てないで、花びらのようにして糊づけの部分をひろくしています。



三



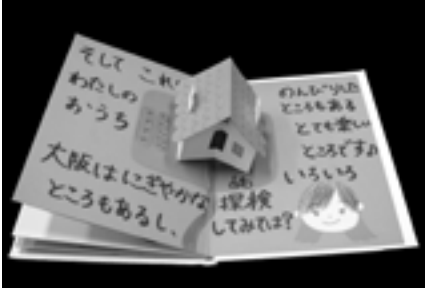
二

二. 中には二枚の紙を重ねて足と胴体を切りとります。

一方の紙の胴体は上半分まで切り込みを入れ、もう一方は胴体の下半分に切り込みを入れます。その後、二枚を差し込んで組み合わせ、胴体の下で糊づけをします（蝶の型紙から発展）。

三. 帽子の部分はページを開くと飛び出しますが、閉じるとはみ出さないようにしています。

これは帽子の真ん中の部分を放射状に折り目をつけ、谷折りと山折りを交互にしているからです。



五

五. 家の壁の部分は箱を作るやり方です。五角形の壁のところを谷折りにするとページを閉じた時に畳むことができます。



四

四. 通天閣は二枚の紙を組み合わせています。ツリーの型紙を変形して鉄塔と展望台の部分を工夫しています。

## 十一・協働・共同制作絵本

### 「手づくり絵本の会 プラス」協働制作

「手づくり絵本の会 プラス」は、絵本作りに興味関心のある人たちが月に一回、奈良市生涯学習センターに集まって絵本に関する話を話し合い、制作をします。この会の代表者が山岸清太郎さんです。六十八ページ下の写真は山岸さんが作った絵本の一部です。わたしもこの会の一員で、会社員、主婦、奈良教育大学の卒業生たちが各自の手作り絵本をもって集まります。時には協働制作をしました。

いままで奈良教育大学の教育資料館で学生たちが開催する『手作り絵本展』にプラスのメンバーは賛助出品をし、会場当番や地域の子ともたちが絵本作りをする手伝いをしてくれました。

ここで「共同」といわずに「協働」としているのには意味があります。同じ仕事を一緒にするのを「共同」、一つの目標に向かって各自の得意技を持ち寄り、調整しながら仕事をするのを「協働」と使い分けています。

「協働」は、メンバーの働きの調整がうまくいかないと感じていますが、みんなが共通の目的をはっきりと理解し、お互いの気持ちや腕前を認め合うことができれば、そして作品の統一性を確保するための指示者がはっきりしていれば、



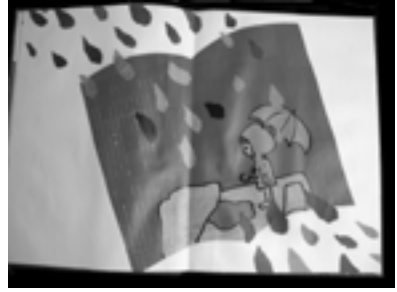
「手づくり絵本の会 プラス」の協働制作絵本



山岸さんの手作り絵本



『プラス』の本紙



『プラス』の本紙

各自の能力が充分に発揮できて、期待以上の成果を得ることができてきます。また、仕掛け絵本や触れる絵本のような、描画と比べて手数のかかる作品は、協働制作に馴染みやすいです。

六十八ページ上の写真は、「手づくり絵本の会 プラス」のメンバーがこころと力を合わせて作った手作り絵本です。三冊とも協働の仕方が違います。

◆ 『ばらがちょっとだけすきになったこねこ』

この作品は、ひとりがプロットを創り、ひとりがテキストを書き、ひとりが背景を、もうひとり人は人を描きました。そして最後に表紙デザインと製本をひとりが引き受けて、一ヶ月ほどで完成しました。

◆ 『大仏つつあん食べて』

この作品は、ひとりの個性を最大限に生かしながらの協働作業として、プロットから線画までをひとり担当し、彩色をみんなが分担し、最後にひとりが表紙デザインと製本を引き受けました。彩色は一日で完了しました。

◆ 『プラス』



大型の飛び出す絵本『桃太郎』（共同制作）

メンバー全員が集まり、各自が一ページずつ分担して新聞のカラー印刷部分をコラージュ風に貼りつけました。できたものを並べて絵柄からストーリーと構成をみんなで作え、みんなが手直しに参加し、丸一日で完成しました。最後にひとり表紙デザインと製本を担当して仕上げました。

◆十三年前の学生が作った共同制作『桃太郎』

上の写真の大きな飛び出す絵本は、わたしが奈良教育大学へ転任してはじめて担当した「初等教科教育法 図画工作」受講生の共同制作です。小学校の教材として、グループでテーマを決め自由制作しました。わたしが前任校で飛び出す絵本を作った話をしたら、六名の学生が興味をもち、大型絵本に取り組んだのです。この飛び出す絵本は、開くと縦六十センチ、横八十七センチになります。

二ミリの厚い黄ボール紙を使い、上から色画用紙を糊づけして桃太郎や鬼を作っています。腕が動く

ように肩のところには割りピンを使っています。表紙は木綿の布で装丁し、頑丈に作っているのでも飛び出す仕組みは動きません。

十三年前、完成した作品をみんなに見せた時の六名の晴れやかな顔が思い出されます。



## おわりに・「手作り絵本の楽しさ」を体験しましょう

「幼児の造形表現」の授業は、幼稚園教諭や保育士の免許をとりたい学生が受講します。授業のはじめに、半年間で十五回の授業内容を話します。十五回絵本作りの授業をするのでなく、子どもの造形活動の発達に関する講義や教育実習で試みる教材研究と保育案の立て方など、盛りだくさんの学習内容があります。

絵本に関する授業は「ソフトカバーの絵本」と「飛び出す絵本」だけです。一番ハードな授業になることを話したあと、学生たちと一緒に「えほんのひろば」へいきます。毎年、三十名ほどの受講生がいます。

自分たちが授業で絵本を作ることに強い関心をもっている一方、絵を描いたり、作業をしたりすることが苦手な自分が絵本を作ることができるのか不安に思う学生が多くいます。

二千冊あまりの市販の絵本と先輩たちが残してくれた手作り絵本が二百冊余り、表紙が見えるように置いてあるのを見て、学生たちは歓声をあげ、それぞれが気に入った絵本を手にとり懐かしそうに見はじめます。小学校の低学年までは絵本を見ることがあったとはいえ、十数年ぶりに絵本を手にとったという学生が多いのです。そして、市販の絵本と手作り絵本から、それぞれこころ惹かれる絵本を選んで感想を書きました。

その中の、主として手作り絵本に関するものを取り上げて紹介し、関連して、手作り絵本ととり組む際の注意事項をいくつか話しておきたいと思います。

対象と目的をはっきりと

《学生の感想より》

「市販絵本と手作り絵本の」どちらの絵本も、読む子どもを思った工夫がされて素敵だと思いました。」

「市販の絵本はすべての子どもを対象としていますが、手作り絵本はある特定の人や自分のために作られていることが多いので、思い入れが伝わってきて深い作品が多いと思います。」

「(市販絵本は)文、絵ともにプロが描いているだけあり、やはりまとまっただけで見やすいです。絵本の中の一語一語が選ばれた言葉なのだと思います。シンプルでわかりやすい表現が多く、一文が長すぎないことも、読みやすい理由だと思います。」

◆対象を絞り込む

制作にとりかかる前に、気持ちをちょっと「作る目的」に向けてください。目的といってもかたく考える必要はありません。「自分が楽しむために」、「大切に

しているものをきちんと保存するために、「身近な人（家族、友人、同好の人など）に見せるために」程度でよいのです。誰に見せたいのかをはっきりしておくことは手作り絵本の第一の基本です。

手作り絵本は、子どもだけを対象にしてはいけません。幼児から高齢の方まで幅広い年齢層が対象になるといえます。ただ、幅広い年齢層を狙った作品は、かえって焦点が甘くなり、印象（インパクト）が弱くなって、つまらない作品になりがちです。

#### ◆手作り絵本は「想い」を伝える

手作り絵本の第二の基本は、題材を選ぶ時に相手に何を伝えたいのか（目的）をはっきりしておくことです。

学生の感想の中に、思い入れが伝わると深い作品になるという意味の指摘がありました。ここで「（相手に）思い入れが伝わる」というのを「（自分が）心を開く」という言葉に置き換えてみましょう。

「（自分が）心を開く」というのは、自分が抱いている気持ち（想い）を率直にあらわすということです。つぎのようなものがそれに当たります。

○あるできごに遭うことで生まれた感情や感想

○自分が体験して得た事実 (What・何、Why・なぜ、When・いつ、How・どう) によって、Where・どこ、Who・誰) の記憶

○感情や感想や体験の記憶を通じて得た考え

これらを物語 (筋書きIIストーリー) に組み立てて題材にし (構成し)、自分の得意な表現方法で表現してきた時、「深い作品」になります。

だから、できるだけ身近なものに題材を求めるように心がけてください。逆に、自分の想いとかけ離れた架空の (バーチャルな) 題材は、どんなに上手で格好がよくても (技術的に優れていても)、キラツと輝く、感動を呼ぶ作品にはなりにくいです。

#### ◆言葉を大切に

絵も「物語る」力をもっていますが、「想い」を伝える、つまり「物語る」のは、やはり文章です。

無味乾燥な文章には魅力がありませんが、絵を説明するだけの文章や、思い入れたつぶりの文章は、ないほうがむしろ、などと言われます。絵だけの絵本も、なかなか素敵なものが多いです。

「くどいお喋りは敵」なのです。言葉だけで「想い」を伝える詩人は、言葉を

大切にします。詩を書けとはいませんが、絵の力を信じて文章をできるだけスリムにし、絵と文章のバランスをとることが大事です。

なぜ「世界でただ一冊」なのか

《学生の感想より》

「市販のもののように質の高い絵本をひとりで作ることはとても難しいと思います。しかし（手作り絵本の世界は）素材も多様であるし、手作りならではの素朴さや温かさがあると思います。世界にひとつの作品になることも手作り絵本のもつ大きな魅力です。アイディアや工夫を深め、こころのこもった作品が作ればよいと思います。」

「市販の絵本にはないあたたかさが、手作り絵本にはあるように思います。不揃いな絵本や文字、創意工夫された中身、あまり長くないストーリーの中には、さまざまな思いや苦勞がつまっていました。」

手作り絵本は「世界で一冊しかない」といいます。それは、手作りなので一冊しかない（同じものを何冊も作れない）という、物理的な理由だけではありません。もうひとつの、もっと大切な（本質的な）理由があります。それは、手作りの絵本があなたとあなたが選んだ相手との、顔をつき合わせての（直接的な）対話のツール（用具、手段）だということです。

自分自身の手ですべてを手作りし、ついでに作る過程も楽しみ（あるいは苦しみ）、そしてできあがった、あなたの「想い」のいっぱい詰まった手作り絵本を、自分の親しい人たちに楽しんでもらおうと思っ作っています。見方をかえると、売りもの（商品）ではなくて、親しい人へあなたの「想い」を伝えるための贈りものだという事です。これが、大切な（本質的な）もうひとつの理由です。

丁寧は、失敗をおそれず絵本を作ってみましょう

手早くすると上手だと思ひ、丁寧にしてゐると、のろくさいとか下手だとか、やる気がないと思ひがちです。しかし手早さは粗雑さと背中合わせて、ひとつ間違えば期待はずれの結果を招きます。また、丁寧にするのとのろくさいのとはちがいます。

丁寧さは、はじめはのろくさいように見えますが、基本を丁寧に守つてゐると、「きちんとするべきもの」と「省いてもよいもの、ゆとりをもつてよいもの」とを見分けることができるようになります。

そうになると、無理・無茶・無駄がなくなり、手早くできるようになるだけでなく、できばえにバラツキがなくなります。これを手際がよいといひます。コツ（ノウハウ）を飲み込めたといひるのはこのことです。

それに、人は慣れないうちだけでなく、手際の良い人でもやはり失敗すること

があります。大切なのは失敗しないことではなく、失敗の反省をきちんと生かすことです。

だから考え込んで尻込みしないで挑戦しましょう。それは「やってみないとわからない」という無責任な意味ではなくて、体験をベースにしたものでないと実際に役立つものにはならない、ということなのです。

絵本の種は、あなたの身の回りにいっぱいあります。まず、童心にかえて「ぐちゃぐちゃ線の絵本」を一冊作ると、いままで気づかなかった絵本の種があなたの目に飛び込んできます。子どもの何気ないつぶやきからも絵本を作ることができます。材料も身近にあるものを使って失敗をおそれず作ってください。手作り絵本の楽しさを体験してください。

絵本作りに興味関心が出てきたら、気軽に奈良教育大学の「えほんのひろば」へ足を運んでください。カウンターの人に声をかけ簡単な入館手続きをすれば、自由に学生の手作り絵本と市販の絵本を手にとることができます。図書館の開館日時はホームページを見るか、電話で問い合わせてください。

## ■著者紹介

### 梶田 幸恵 (かじた・さちえ)

昭和 40 年 (1965 年) 神戸大学卒業、神戸で小学校教諭

昭和 56 年 (1981 年) 宮城教育大学助教授

平成 6 年 (1994 年) 奈良教育大学教授

平成 20 年 (2008 年) 奈良教育大学 定年退職

著書に『粘土細工から彫塑教育へ』(明治図書、1980 年)、『毛筆のよさを生かす美術教育』(明治図書、2003 年)、『子ども美術館 24 ねんどで人をつくる』(ポプラ社、1986 年) 他

手作り絵本に『光明皇后』、『いざなみ』、『アマテラス』、『さほ姫』、『とよたま姫』、『奈良の世界遺産』、『雅楽』、『正倉院』 他

奈良教育大学ブックレット 第 1 号

## 手作り絵本の楽しさ

2008 年 11 月 23 日 初版第 1 刷発行

著 者 梶田幸恵

企 画 奈良教育大学出版会

装 丁 仲野真輔 (「仲真」)

発行者 三好信久

発行所 株式会社東山書房

〒 604-8454 京都市中京区西ノ京小堀池町 8-2

TEL:075-841-9278 FAX:075-822-0826

<http://www.higashiyama.co.jp>

印 刷 創栄図書印刷株式会社

© 梶田幸恵 2008 Printed in Japan ISBN978-4-8278-1465-1



## 奈良教育大学出版会発足にあたって

奈良教育大学は、このたび奈良教育大学出版会を設立することといたしました。

国立大学の法人化後すでに五年を経過しましたが、国立大学にはこれまでも増して大学の教育と研究の成果を広く社会や地域に発信していくことが求められています。

本学における研究は、教育大学という特性上、教育学をはじめとする人文社会科学、自然科学、さらに芸術、体育学まで多様な分野にわたっています。特に、教育大学として社会的要請に応える学校教育と生涯学習に関する研究、学校教育における日々の教育実践上の課題に対応した研究を進めています。また、古都奈良の自然と歴史・文化に根ざした特色ある学際的研究も行われています。

しかしながら、これらの研究成果は必ずしも学校現場をはじめ地域社会には十分に知られていないのが現状です。

今回の奈良教育大学出版会の設立により、本学教員の研究成果を容易に出版することが可能になるとともに、一般教養書、学術書等の出版活動を通して、教育界をはじめ広く社会に貢献し、ひいては我が国の学術・教育・文化の振興・発展に寄与することができると確信しています。

出版会の最初の事業として、本学教員の研究内容を平易に紹介するブックレットを創刊いたしますが、今後とも「地域の知の拠点」としての大学の社会的使命を果たしてまいりますので、出版会の事業にご理解とご協力・ご支援をお願いいたします。

二〇〇八年九月

奈良教育大学長 柳澤 保徳